

数理・データサイエンス・AI教育プログラムとして認定等されたプログラムの変更について

令和4年3月29日

文部科学大臣 殿

長崎大学長
河野 茂

数理・データサイエンス・AI教育プログラムとして認定等されたプログラムについて、下記のとおり変更します。

記

①学校名	長崎大学	②設置者名	国立大学法人長崎大学
③設置形態	国立大学	④所在地	長崎県長崎市
⑤プログラム名	データサイエンス・統計リテラシー教育プログラム		
⑥認定等の結果	数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)	⑦認定等年月日	令和3年8月4日
⑧プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)	数理・データサイエンス小委員会		
⑨教育プログラム概要の公表URL	https://www.mlms.innov.nagasaki-u.ac.jp/nds/		
⑩プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)	数理・データサイエンス小委員会		
⑪教育プログラムの自己点検・評価結果の公表URL	https://www.mlms.innov.nagasaki-u.ac.jp/nds/		
⑫プログラムを構成している授業科目について	<input checked="" type="checkbox"/> 全学部・学科に開講されている		

⑬変更内容

1	変更事項	新(変更後)	旧(変更前)	変更年月日
	科目の変更	データサイエンス概論	データサイエンス入門	R3.4.1
	変更理由			
	より学生にわかりやすい名称にするため			
2	変更事項	新(変更後)	旧(変更前)	変更年月日
	科目の変更	統計学概論	統計学入門	R3.4.1
	変更理由			
	より学生にわかりやすい名称にするため			

⑭連絡先

所属部署名	長崎大学学生支援部教育支援課総務班	担当者名	岳川 真児
E-mail	kyokai_zen@ml.nagasaki-u.ac.jp	電話番号	095-819-2070

学校名：長崎大学

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 具体的な修了要件

「データサイエンス**入門概論**」と「統計学**入門概論**」(各クォーター科目1単位)の両方の単位を取得すること(合計2単位)。

③ 授業科目名称

授業科目名称		授業科目名称	
1	データサイエンス 入門概論	26	
2	統計学 入門概論	27	
3		28	
4		29	
5		30	
6		31	
7		32	
8		33	
9		34	
10		35	
11		36	
12		37	
13		38	
14		39	
15		40	
16		41	
17		42	
18		43	
19		44	
20		45	
21		46	
22		47	
23		48	
24		49	
25		50	

学校名：長崎大学

プログラムの授業内容・概要

① プログラムを構成する授業の内容・概要(数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「導入」、「基礎」、「心得」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業概要	
	「データサイエンスとは何か」ということから、国内での数理・データサイエンス・AIの動向、第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会といった、身近で起こっている社会の変化を知り、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を学習する。また、データサイエンスやAIを活用した新しいビジネス、最新のデータサイエンス・AI技術の活用事例を学習する。	
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている ※モデルカリキュラム導入1-1、導入1-6が該当	授業科目名称	講義テーマ
	データサイエンス入門概論	データサイエンスの役割(1)

<p>(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-2、導入1-3が該当</p>	授業概要	
	<p>様々な領域でデータとAIが活用されていることを理解する。また、マーケティング、金融、品質管理、画像処理、医学における具体的なデータサイエンスの活用方法・技術を学習する。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	データサイエンス 入門概論	データサイエンスの役割(1)、データサイエンスの応用事例(7)

<p>(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-4、導入1-5が該当</p>	授業概要	
	<p>流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケアなどの広範な領域で実際にデータが活用されており、現場の知見まで含めた複数の技術の組み合わせによって価値が想像されていることを理解し、データとAIを活用することで価値が生まれているかを知る。また、マーケティング、金融、品質管理、画像処理、医学における具体的なデータサイエンスの活用方法・技術を学習する。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	データサイエンス入門概論	データサイエンスの役割(1)、データサイエンスの応用事例(7)

<p>(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする</p> <p>※モデルカリキュラム心得3-1、心得3-2が該当</p>	授業概要	
	<p>数理・データサイエンス・AIは万能ではないことを学ぶ。帰納的推論と演繹推論の違いを知り、その欠点と利点を理解するとともに、現在のデータサイエンス・AI技術でできることとできないことを理解する。データ・AIを利活用する上でのELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等の留意事項を学習する。さらに、情報セキュリティ、情報漏洩等のデータを守るための留意事項を学習する。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	データサイエンス 入門概論	データサイエンスの役割(1)

<p>(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの</p> <p>※モデルカリキュラム基礎2-1、基礎2-2、基礎2-3が該当</p>	授業概要	
	データの収集方法も含めたデータ分析と統計学の基礎的事項を学習し、データを読み解き、適切に説明し、取り扱うための力を養う。データサイエンスと統計学の手法を学習し、データ分析用プログラミング言語によってデータ・AIを利活用できることを知る。	
	授業科目名称	講義テーマ
	データサイエンス 入門概論	データ分析の基礎(2~3)、データサイエンスの手法(4)、コンピュータを用いた分析(5~6)
	統計学 入門概論	統計学とは(1)、データの縮約(2)、データのばらつきの指標(3)、確率変数と確率分布(4)、推定の基礎(5)、仮説検定(6)、回帰モデル(7)

② プログラムを構成する授業の内容・概要(数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「選択」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業科目名称
統計及び数理基礎	データサイエンス 入門概論 、統計学 入門概論
アルゴリズム基礎	
データ構造とプログラミング基礎	データサイエンス 入門概論
時系列データ解析	
テキスト解析	
画像解析	データサイエンス 入門概論
データハンドリング	データサイエンス 入門概論 、統計学 入門概論
データ活用実践(教師あり学習)	データサイエンス 入門概論 、統計学 入門概論
その他	

③ プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

<https://www.mlms.innov.nagasaki-u.ac.jp/nds/>

④ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習し、社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力。様々な分野に共通するデータの集計、分析、解釈を行うための統計学の基礎的事項。

MSN Japan・ニュース、天気... 勤務実績 | 長崎大学 就業... 国立大学法人 長崎大学

教職員 | 長崎大学 長崎大学教職員ポータル シラ(シ参照 [CampusSquare])

お知らせ
 ○学生生活を送るうえで様々な困難で困ったり、悩んだら、まず学生支援センター「学生庁」でも相談室に相談して欲しい「何でも相談室」はこちらから
 ○学生の意見が学長に直接届く「学長目録」はこちらから

MYスケジュール
 2022年3月
 Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat
 1 2 3 4 5
 6 7 8 9 10 11 12
 13 14 15 16 17 18 19
 20 21 22 23 24 25 26
 27 28 29 30 31
 2022/03/25(Fri)
 登録されている予定はありません

よく使うメニュー
 学生支援情報
 学生住所変更
 履修登録・登録状況照会
 履修成績照会
 単位修得状況照会
 休講増講参照
 シラ(シ参照)
 アンケート回答・集計結果照会
 掲示板

検索結果ページ: << 前へ 1 次へ >>

No.	学期	開講	曜日・校時	前学期コード	科目ナンバ(リンクコード) 概要 詳細	科目	担当	参 考
1	1クオーター	1クオーター	他	20210590000102		●データサイエンス概論(L1・L2)	神山 剛	和文 英文
2	1クオーター	1クオーター	他	20210590000103		●データサイエンス概論(L3・L4)	神山 剛	和文 英文
3	1クオーター	1クオーター	他	20210590000109		●データサイエンス概論(F)	高田 英明	和文 英文
4	1クオーター	1クオーター	他	20210590000110		●データサイエンス概論(J)	高橋 特直	和文 英文
5	1クオーター	1クオーター	他	20210590000114		●データサイエンス概論(K)	松本 祐高	和文 英文
6	1クオーター	1クオーター	他	20210590000115		●データサイエンス概論(F)	加藤田 雄太郎	和文 英文
7	3クオーター	3クオーター	火5	20210590000107		●データサイエンス概論(H4~H6)	本田 純久	和文 英文
8	3クオーター	3クオーター	他	20210590000101		●データサイエンス概論(G)	榎木 優夫	和文 英文
9	3クオーター	3クオーター	他	20210590000104		●データサイエンス概論(E1~E3)	松本 祐高	和文 英文
10	3クオーター	3クオーター	他	20210590000105		●データサイエンス概論(E4~E6)	松本 祐高	和文 英文
11	3クオーター	3クオーター	他	20210590000106		●データサイエンス概論(M1~M3)	高橋 泰斗	和文 英文
12	3クオーター	3クオーター	他	20210590000108		●データサイエンス概論(D)	高橋 洋文	和文 英文
13	3クオーター	3クオーター	他	20210590000111		●データサイエンス概論(T1~T3)	榎木 優夫	和文 英文
14	3クオーター	3クオーター	他	20210590000112		●データサイエンス概論(T4~T6)	高橋 洋文	和文 英文
15	3クオーター	3クオーター	他	20210590000113		●データサイエンス概論(T7~T9)	高橋 洋文	和文 英文

1件目 から 15件目の検索結果を表示しています (全部で 15件あります)

検索結果表示件数: 100 件 表示

nagasaki-u.ac.jp のパスワードを保存しますか? 詳しい情報(M) はい(Y) このサイトではない(N) X

Windows を検索

15:47
2022/03/25

	2021年度/Academic Year 3クオ ーター/Third Quarter		他/Others 0
	2021/09/28~2021/11/24		
必修選択/Required / Elective	必修/required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0
	20210590000101		05900001
	●データサイエンス概論(G)/Introduction to Data Science		
編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus	植木 優夫		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	植木 優夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等) /Instructor(s)	植木 優夫		
	数理・データサイエンス科目		
	1, 2, 3, 4		講義/Lecture
	オンライン		
対象学生(クラス等) /Intended year	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	uekim▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス総合教育研究棟12F		
担当教員TEL/Tel	095-800-4193		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速する中、文系・理系を問わず、大学教育において、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見及びデータから新しい価値を創造できる人材の養成が必要となっています。この授業では、様々な分野のデータを分析するためのデータサイエンスの基礎を学習します。		
授業到達目標/Course goals	なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのか、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、判断できることが必要であるため、データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習し、社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<input checked="" type="checkbox"/> 主体性/Autonomy <input checked="" type="checkbox"/> 汎用的能力/Generic Competence <input type="checkbox"/> 倫理観/Ethics <input type="checkbox"/> 多様性の理解/Understanding Diversity <input type="checkbox"/> 協働性/Cooperativeness <input type="checkbox"/> 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas <input type="checkbox"/> 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<input checked="" type="checkbox"/> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over <input type="checkbox"/> B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives <input checked="" type="checkbox"/> C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills <input checked="" type="checkbox"/> D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems <input type="checkbox"/> E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above <input type="checkbox"/> F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	全小テストの合計(100点満点)が60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	十分な予習復習を前提とします。(各2h)		
キーワード/Keywords	データサイエンス		
教科書・教材・参考書/Materials	毎回教材を配布します。 教科書:「データサイエンス入門(データサイエンス大系)」 竹村彰通, 姫野哲人, 高田聖治(編) 学術図書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	わからない箇所は遠慮なく質問してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	データサイエンスの概要を紹介します。データサイエンスの役割、データサイエンスの応用と活用技術、社会におけるデータサイエンス
第2回	データ分析の基礎について学習します。データの取得方法と管理方法、ヒストグラム、箱ひげ図、平均値と分散
第3回	データ分析の基礎について学習します。散布図、相関係数、回帰直線、データ分析での注意点
第4回	データサイエンスの手法について学習します。クロス集計、回帰分析、ベイズ推論、アソシエーション分析
第5回	データサイエンスの手法、コンピュータを用いた分析について学習します。クラスタリング、決定木、ニューラルネットワーク、機械学習と人工知能、Excel を使ったデータ分析
第6回	コンピュータを用いた分析について学習します。RやPython を使ったデータ分析
第7回	データサイエンスの応用事例について学習します。マーケティング、金融、品質管理、画像処理、医学
第8回	総括

	2021年度/Academic Year 4クオ ーター/Fourth Quarter		他/Others 0
	2021/11/25~2022/03/31		
必修選択/Required / Elective	必修/required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0
	20210590000311		05900003
	●統計学概論(T1~T3)/Introduction to Statistics		
編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus	植木 優夫		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	植木 優夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等) /Instructor(s)	植木 優夫		
	数理・データサイエンス科目		
	1, 2, 3, 4		講義/Lecture
	オンライン		
対象学生(クラス等) /Intended year	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	uekim▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス総合教育研究棟12F		
担当教員TEL/Tel	095-800-4193		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会の様々な分野でデータ利活用が進み、文系・理系を問わず、データを適切に分析し理解できる能力が求められるようになりました。この授業では、様々な分野のデータを読み解く上で、共通して必要となる統計学の基礎的事項を学習します。		
授業到達目標/Course goals	データを適切に利活用するためには統計学の理解が必須であり、様々な分野に共通するデータの集計、分析、解釈を行うための基本的な統計学の知識を修得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<input checked="" type="checkbox"/> 主体性/Autonomy <input checked="" type="checkbox"/> 汎用的能力/Generic Competence <input type="checkbox"/> 倫理観/Ethics <input type="checkbox"/> 多様性の理解/Understanding Diversity <input type="checkbox"/> 協働性/Cooperativeness <input type="checkbox"/> 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas <input type="checkbox"/> 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<input checked="" type="checkbox"/> A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over <input type="checkbox"/> B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives <input checked="" type="checkbox"/> C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills <input checked="" type="checkbox"/> D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems <input type="checkbox"/> E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above <input type="checkbox"/> F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	全小テストの合計(100点満点)が60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	十分な予習復習を前提とします。(各2h)		
キーワード/Keywords	統計学		
教科書・教材・参考書/Materials	毎回教材を配布します。 教材内に関連する参考書等を記載します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	わからない箇所は遠慮なく質問してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	統計学概論の導入です。統計学とは、相関と因果関係
第2回	データの縮約について学習します。代表値、ヒストグラム
第3回	データのばらつきについて学習します。分散、標準偏差
第4回	確率変数と確率分布について学習します。確率変数、確率分布、期待値と分散、二項分布、正規分布
第5回	統計的推測の基礎について学習します。ランダムサンプリング、点推定、区間推定
第6回	仮説検定について学習します。仮説検定の概念、平均の検定、様々な検定方式
第7回	回帰モデルについて学習します。線形回帰モデル、発展的内容
第8回	総括

令和3年度 教養教育授業担当者一覧表

数理・データサイエンス科目

担当科目	副題（又はクラス）	人数	前・後期	曜日	校時	所属	職名	氏名
データサイエンス概論	多文化社会(G)	100	3Q			情報データ科学部	教授	植木 優夫
データサイエンス概論	教育(L1・L2)	90	1Q			情報データ科学部	准教授	神山 剛
データサイエンス概論	教育(L3・L4)	90	1Q			情報データ科学部	准教授	神山 剛
データサイエンス概論	経済(E1～3)	135	3Q			情報データ科学部	准教授	松本 拓高
データサイエンス概論	経済(E4～6)	135	3Q			情報データ科学部	准教授	松本 拓高
データサイエンス概論	医学(M1～3)	120	3Q			情報データ科学部	助教	眞邊 泰斗
データサイエンス概論	医学(M4～6)	106	3Q	火曜	5	医学部保健学科	教授	本田 純久
データサイエンス概論	歯学(D)	50	3Q			情報データ科学部	准教授	宮島 洋文
データサイエンス概論	薬学(P)	80	1Q			情報データ科学部	教授	高田 英明
データサイエンス概論	情報(J)	110	1Q			情報データ科学部	准教授	高橋 将宜
データサイエンス概論	工学(T1～3)	110	3Q			情報データ科学部	教授	植木 優夫
データサイエンス概論	工学(T4～6)	110	3Q			情報データ科学部	准教授	宮島 洋文
データサイエンス概論	工学(T7～9)	110	3Q			情報データ科学部	准教授	宮島 洋文
データサイエンス概論	環境(K)	130	1Q			情報データ科学部	准教授	松本 拓高
データサイエンス概論	水産(F)	110	1Q			情報データ科学部	助教	加葉田 雄太朗
データサイエンス概論	経済(夜間主)	60	3Q			情報データ科学部	助教	園田 光太郎
統計学概論	多文化社会(G)	100	4Q			情報データ科学部	准教授	梅津 佑太
統計学概論	教育(L1・L2)	90	2Q			情報データ科学部	准教授	神山 剛
統計学概論	教育(L3・L4)	90	2Q			情報データ科学部	准教授	神山 剛
統計学概論	経済(E1・E2)	135	4Q			情報データ科学部	准教授	松本 拓高
統計学概論	経済(E3・E4)	135	4Q			情報データ科学部	准教授	松本 拓高
統計学概論	医学(M1～3)	120	4Q			情報データ科学部	助教	眞邊 泰斗
統計学概論	医学(M4～6)	106	4Q	火曜	5	医学部保健学科	教授	本田 純久
統計学概論	歯学(D)	50	4Q			情報データ科学部	助教	加葉田 雄太朗
統計学概論	薬学(P)	80	2Q			情報データ科学部	教授	西井 龍映
統計学概論	情報(J)	110	2Q			情報データ科学部	准教授	高橋 将宜
統計学概論	工学(T1～3)	110	4Q			情報データ科学部	教授	植木 優夫
統計学概論	工学(T4～6)	110	4Q			情報データ科学部	准教授	宮島 洋文
統計学概論	工学(T7～9)	110	4Q			情報データ科学部	准教授	宮島 洋文
統計学概論	環境(K)	130	2Q			情報データ科学部	准教授	鈴木 郁美
統計学概論	水産(F)	110	2Q			情報データ科学部	助教	加葉田 雄太朗

令和3年度より全学部1年次生必修

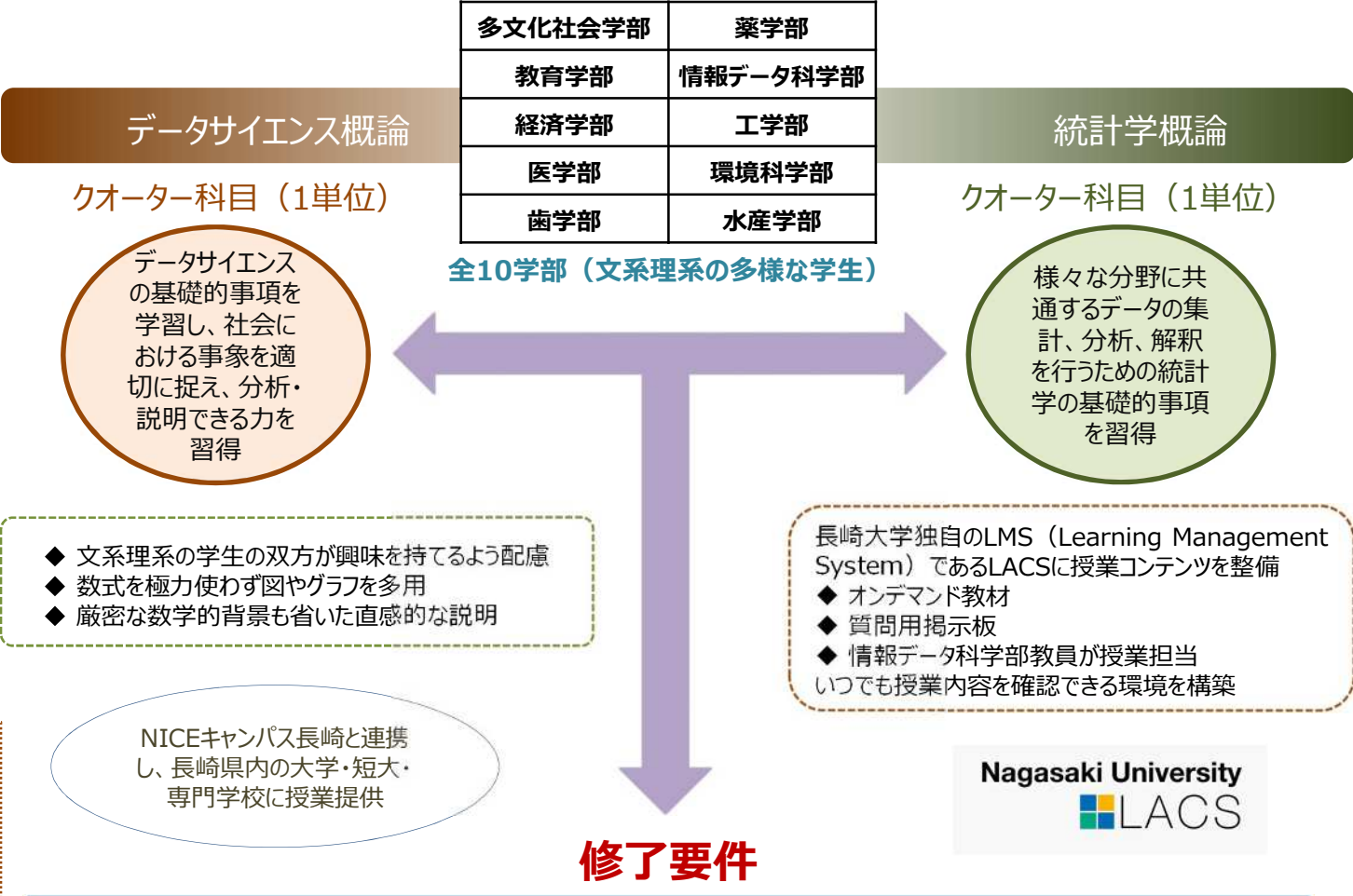
社会のグローバル化や産業構造の変化が加速する中、文系・理系を問わず、大学教育において、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見及びデータから新しい価値を創造できる人材を養成

情報データ科学部が中心となって授業プログラムを開発

- Excel, R, Pythonによる分析例の紹介を取り入れることで、自らデータサイエンスを活用するイメージが湧くように配慮
- 学部の系統で異なる複数のデータセットを用意し、テーラーメイドにデータ分析の実例紹介

数理・データサイエンス小委員会

- 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム協力校（九州・沖縄ブロック）としての活動
- ◎ 周辺大学・短大・高等専門学校へのデータリテラシー教育の普及
 - ◎ FD等による教材開発の情報提供



「データサイエンス概論」と「統計学概論」の両方の単位を取得（合計2単位）
（学部・学科によって修了要件は相違しない）

